

1. 報告

1) 九州支部総会報告

今年度の総会を熊本の阿蘇五岳のひとつ鳥帽子岳の山腹にあり、地獄・垂玉の温泉郷にはさまれた国民宿舎南阿蘇で開催しました。その報告を以下に述べます。

○日時:2007年4月14日(土)16時受付、17:00—18:20 サーバス九州支部総会

○場所:国民宿舎 南阿蘇; 住所:熊本県阿蘇郡長陽村河陽 2441

○出席者:14名

○支部総会内容

(1) 支部長挨拶にはじまり、出席者の簡単な自己紹介の後、支部長が2006年4月から2007年3月の期間について以下の活動報告を行なった。

2006年度活動報告

1. 行事

1) 九州支部総会及び懇親会

日時:4月8日(土)14時から、場所:北九州市出席者:23名(会員16名、他7名)

内容:支部長挨拶、2006年度活動報告、決算報告、監査報告、支部長選出、2007年度活動計画、各県の世話人を選出、国内会議報告など;総会の後、懇親会

2) 九州支部例会

日時:2006年11月11日(土)、16時受付、18時—20時

場所:宮崎市山崎町 コテージヒムカ

出席者:23名

内容:支部長挨拶、自己紹介、会員間の情報交換、サーバス受入及びサーバス旅行体験報告など

3) 日本サーバス国内会議

日時:2007年3月17日(土)13:00~18日(日)

場所:東京都大田区生活センター第5会議室

出席者:本部・支部役員20名、関東支部会員11名

内容:会長挨拶、2007年度事業・決算報告、各支部の活動報告、2007年度活動計画、予算など。17日18:00より懇親会。

2. サーバス九州会報の発行

No. 125(2006年5月14日)、No. 126(2006年9月20日)、

No. 127(2007年1月28日)

3. 会員動向

1) 会員数56名(2006年12月末現在; 対前年4名増)

内訳:福岡11、佐賀1、長崎7、大分17、熊本3、宮崎12、熊本3、鹿児島2、沖縄1)

2) 新入会員10名、復会0名、休会2名、退会3名

3) トラベラー認定者数:5名(会員2名;非会員3名)

4) 外国へのサーバス旅行者:7名(佐賀2(1)、長崎1、大分4(2);括弧内は非会員)

5) 外国からのトラベラー:受入人数41名(延べ人数65名)

国別内訳:韓国21(30)、米国10(14)、オーストラリア4(7)、カナダ2(8)、オランダ2(4)、フランス1(4)、デンマーク1(1)

県別内訳延べ人数:福岡22名、佐賀10名、長崎8名、大分10名、熊本1名、宮崎14名)

(2) 会計係から2006年度決算(2006年1月—2006年12月)報告がなされ、更に、会計監査から監査の報告がなされた。報告に対して出席者全員の承認が得られた。

その概略は、2005年度繰越286,349円を含めた2006年度の収入額は475,361円、2006年度の総支出額は165,521円、2007年度への繰越額は309,984円である。詳細は添付資料

(3) 2007年度活動方針

支部長より活動の提案がなされ意見交換の後、概略以下の活動を行なうこととなった。

1. 2007年度日本サーバス九州支部活動

1) 会員数拡大のため一人の会員が一人の新しい会員を勧誘しましょう。

この10年間で国内会員数は100名以上減少している。九州支部は増加しており他の支部から注目されている。

2) 支部の総会、支部例会に会員でない人を招いて懇談や講演をとりいれ支部の活性化を図りましょう。

3) 九州支部のホームページの充実を図りましょう。トラベラーが旅行しやすいようなルートと各地区の案内を英文や写真・図で紹介する。

4) 海外との交流(日韓交流、オーストラリア、アデレード市との交流など)

2. 2007年度行事計画

1) 九州支部例会

(1) 時期: 8月、 場所: 大分

(2) 時期: 12月 忘年会、 場所: 未定

2) 日本国内会議: 2008年3月29日、30日、 場所: 大阪市

3) 九州支部総会: 毎年4月第1土曜日(多くの会員が出席できるよう今後恒例とする);
来年は2008年4月5日(土); 場所: 未定

3. 支部広報発行予定

5月、10月、1月

4. 各県の世話役の確認及び各地区での活動

(4) 2007年度予算

これまで予算案の内の状況で会計処理がなされてきていたが、新年度より活動方針と併せて予算案が支部長より提案された。会計監査から支部長・事務局での活動について感想が述べられ(本会報の「5. サーバス活動の感想」に掲載)、電話料及び交通費については2007年度までと同様にゼロの提案であったが、出席者による意見交換がなされ、電話料については5,000円、交通費については10,000円の支出を計上することとなった。また、雑収入については5,000円、寄付金については5,000円の収入として予算に計上することを決定した。

2) 第4回目の極東アジア会議報告

先日、日本サーバス会長から第4回目の極東アジア会議(2007年4月6日、7日;韓国,釜山)の報告書が届きましたので以下に添付します。なお、同じ内容が日本サーバス本部のホームページに掲載されています。

第4回極東アジア会議レポート

日本サーバス会長 西山正廣

今月7(土)、8(日)の両日、釜山で表記の会議が開かれ、日本サーバスから11名が参加しました。会議の詳しい報告書はやがて韓国の方で発表されると思いますが、一足早くその概要についてかいつまんでご報告しましょう。会議は釜山駅前のアリランホテルで開かれ、極東アジア地域の会員をはじめ、インドおよびパキスタンの会長、韓国の大学で勉強中のモンゴル人大学生、在韓カナダ人やアメリカ人会員など多数の参加者がありました。地元韓国からは120名ほどの会員および家族が参加し、全体では200名を越すという賑やかさでした。特筆すべきは今回の会議のために国際本

部の副会長がわざわざ駆けつけられたことです。予定では7日の午後2時に開会ということになっていましたが、多くの参加者が前日の6日に同ホテルに到着すること、および国際本部副会長を遊ばせておくのは勿体無いなどの理由で、急遽特別プログラムが組まれました！

6日(金)の午後6時から、大半が韓国人会員および極東アジア地区代表者を前にして、国際本部副会長の Mary Jane Mikuriya さんが「サーバストラベラー認定におけるインタビューの重要性」その他について約2時間ほど熱心にお話されました。それが終わると引き続きFEAの会長が一室に集められ、副会長による「極東アジア地域の活動を活発にするにはどうしたらよいか」というレクチャーがありました。その後、さらに「FEA各国会長会議」とでも呼ぶべき話し合いが持たれ、次回のFEA会議を来年夏、香港で開くこと、副コーディネーターを置くことなどが決まりました。すべてが終わったのは午前零時近くでした！

7(土)の午後2時、同ホテル10階のグランドルームに約200名の会員が集まり、韓国のキム会長による歓迎の挨拶に続いてゲストの紹介、その後FEA会長による活動報告およびゲストのあいさつ、国際本部副会長によるお話などがありました。これら一連のプログラムが午後5時過ぎに終わったとき、前面のスクリーンに過去3回のFEA会議や国際会議の様子を纏めたDVDが映写され、参加者の注目を集めました。

午後6時、夕食に入る前、釜山市観光・コンベンション庁と韓国サーバス代表者の間で何やら協定書のようなものの交換儀式がありました。夕食は美味しい韓式定食、その後韓国の伝統的な音楽を堪能し、長い初日の日程が終わりました。

第2日目の分科会はごく少数の参加でしたが行われ、その後、2台のバスに便乗し慶州への旅を楽しみました。

3) 日本サーバス第29回国内会議報告

日時:国内会議、2007年3月17日(土)13:00~18日(日)12:00

懇親会、3月17日(土)18:00

場所:東京都大田区生活センター第5会議室

出席者:本部・支部役員20名、関東支部会員11名;九州支部からはNが出席

内容:西山正廣会長挨拶、開催地区の支部長の司会で議事が進められた。

2007年度事業・決算報告、各支部の活動報告、2007年度活動計画、予算など。詳しい内容は本部からの議事録を後日配布しますので、ここでは主なことのみを報告します。

- 1) ピースセクレタリーの活動が本格的に始動した。
- 2) IT担当者により日本サーバス本部及び全支部のホームページが充実してきた。
- 3) 本年度活動方針として、(1)一人の会員が一人の新会員を増やすことにより会員増を図ろう。(2)支部例会などの集まりにサーバス会員でない人を招いて呼んで新しいことを学ぼう。(3)HPの国際本部と日本サーバスを日頃からみて情報交換しよう。
- 4) 4月7、8日に韓国で行なわれるサーバス極東アジア会議に日本から多く参加しましょう。
- 5) 「SERVAS JAPAN HOST LIST 2007」版か3桁の番号を入れて会員に配布する。
- 6) トラベラー受入について認定証(Letter of Introduction)を見て受入の判断をすることを再認識しよう。
- 7) 日本サーバス草創期のメンバーの証言収集を行なう提案が関東副支部長からなされ了承された。
- 8) 来年の国内会議は、3月29日、30日に近畿地区で開催される計画。

2. 会員情報

九州支部会員数

2007年1月28日現在の九州支部の会員は、合計54名です。

福岡:11名;佐賀:1名;長崎:7名;大分:17名;熊本:3名;宮崎:12名;

鹿児島:2名;沖縄:1名

3. トラベラー受け入れ報告

○会員(長崎市)

期間:4月12日~4月13日; A and M(フランス; 女性2人)

Aさんは、66歳の女性で、英語の大学教授を退職したところ。父親の突然の訃報のために中断した19年前の日本旅行を完成させるために来られたということでした。同伴の23歳のJurieは、友達の娘さんで、イタリアでデザインの勉強をされています。久留米餅を求めて、久留米を訪ねて来られたとか…。夫の病気で、1月頃連絡があった韓国からの母娘はお断り致しましたが、今回は、陽気も良くなったし、1泊だけ受け入れて見ることにしました。日本食、特に刺身がお気に入り、楽しい時間を過ごす事が出来ました。ご飯も好きで、電気釜を覗いて、今度買って帰ると言っていました。ちょうど長崎県美術館で、ニットや北欧のデザイン展をやっていたので、案内して喜ばれました。

○会員(大豊後大野市)

1) 期間: 1月7日～1月9日; オーストラリア; 夫妻

ご主人はRと言います、とてもラブラブのご夫婦です。リチャドはメルボルンの郊外に3～4人の男性ばかりで無農薬野菜などを作りながら生活をしているようですが、リチャドはアート関係の仕事もしており、シドニーなどで仕事をしているそうです。州江さんはシドニーで仕事をしており週末はシドニーかメルボルンで週末を2人で過ごしているそうです。

2人は温泉が大好きで特に混浴が好きです、なぜかと聞いたらリチャドが日本語ができないため温泉が好きでも早く出るそうです、2人で入ると日本人との話も弾み楽しいそうです。州江さんは久しぶりの日本で美味しいご飯が食べられて満足していました。

2) 期間: 3月27日～3月29日; A(フランス; 夫妻)

Aさんは公務員・Rさんはドイツ語の先生だったそうです。Rさんは、学校を退職後日本語の勉強をして日本旅行をしたそうです。Aさんは公務員(技術系)で厳しい方かと思いましたが、静かな誠実な人柄で本当に奥さんを愛しているなーと思いました。Rさんは日本の看板などの漢字を見て、読み方に間違いがないかと質問して来ます、難しい漢字がよく分かると感じました。外国の人はよく勉強するなーいつも思います。

日本一の九重夢大吊橋や阿蘇国立公園・由布院などの景色を見て感激していました、フランスは世界遺産などが多く一度行って見たいですね。

○会員(大分市)

期間: 4月18～4月20日

スイスから、初来日した若いカップル Mさん(スペイン人)、Mさん(ドイツ人)を受け入れました。二人は、東京、高山、京都、九州では黒川温泉(ユースホステル利用)と旅をされたようで、我家からは石垣島に向かって出発して行かれました。とても元気な若いカップルの来訪で、楽しい3日間を過ごす事が出来ました。

○会員(大豊後大野市)

期間: 1月9日～1月11日; K & R (オーストラリア; 男女カップル)

日本人の彼女とオーストラリア在住の彼のカップルでした。お正月は彼女のふるさと広島で過ごして九州へ回って来たという事でした。ベジタリアンの彼らには食事がちょっと大変でしたが楽しい3日間でした。言葉も彼女が通訳してくれたので戸惑うことなく過ごせました。九重の夢の大橋へ同行しましたが、あまりの寒さに震えていました。帰り際に「私達の住んでいる水道、電気もないベジタリアンの生活へ是非尋ねてください」とのお誘いに近いうちに行きたいような感じになりました。

4. サーバス旅行報告

○「ドイツ・デュッセルドルフ滞在」

北九州市 会員

「ドイツ・デュッセルドルフ; Bさんを訪ねる」(3月18日～20日)

3月半ばデュッセルドルフで開かれた世界的に有名なワイン見本市を訪ねました。デュッセルドルフは「ヨーロッパの日本村」と呼ばれるくらいにたくさんの日本人が住んでいる都市ですが、これまで訪ねる機会がありませんでした。折角なのでサーバスのメンバーにコンタクトしてみようと、日本への旅行履歴のある方宛にメールしてみました。初めて会うメンバーと共有できる話題があるとより楽しい時間を過ごせたり、日本で体験したことをどう感じたか聞いているとその方の感性や関心の傾向がわかりますし、話も弾みます。

しかし、2005年版のリストで捜した訪日経験者は、北ドイツのブレーメンに、もう一人の方はフランクフルトに引っ越されていました。ドイツの場合、中規模の都会で生活する人の移動が日本より多いようです。3件目に連絡をしたBさんは、日本への訪問歴はない方でしたが、ブータンで暮らした経験をお持ちの方でしたので連絡してみました。異文化での生活経験がある方も好奇心旺盛で初対面でも多岐にわたる会話が弾みます。

私が今回お世話になったBさんは、最初のメールのお返事で「もちろんウェルカムしたいのだけれど、今仕事がとても忙しくてゆっくりとお相手できないかもしれない、日本の人はお客さんを迎えるときは大歓迎するのでしょ? それを期待されると自分は困る、でも私の住まいはあなたが訪ねる予定の見本市会場にもアクセスしやすいのでそれでもよければぜひどうぞ」という内容でした。その後、数回のメールでのやりとりをして、日曜日の夕方に訪ねる約束をして当日の午後、訪問時間を知らせる電話を入れると電話の対応がシンプルというかやや無愛想だったのでちょっとドキドキしながらの訪問でした。

ブリギッテさんは1987年からサーバスのメンバーで、今は製薬会社のコーディネーターをしているそうです。3泊お世話になって3回の朝食と夕食をご一緒させていただきました。ドイツは地域によって様々な方言があり、わかりにくいことも多々あるのですが、Bさんはクリアな発音の聞きやすい言葉で話してくださるのでほとんど日本語をきいている感じでリラックスしてお話しをすることができました。出勤前の慌ただしいはずの朝食にも美味しいブータン仕込みのミルクティーを入れてく

ださり、たっぷり1時間近くおしゃべりが弾みましたし、到着当日の日曜日の夜はこの辺りの地ビール、「アルト」を飲みたい、という「それじゃ、いいクナイペ(ドイツの居酒屋さん)があるわ。」と、歩いて5分くらいのところにある居酒屋兼軽食屋さんに誘ってくれました。「アルト」は0.2リットル入りのグラスに入っている茶褐色の爽やかなビールです。2日目はおいしいパンとチーズのカルトエッセン(ドイツの火を使わない夕ご飯をこう呼びます)、3日目はサーバスのお宅に泊めて頂く際にお礼の意味を込めて作る「和風ラタトゥイユ」をごちそうしました。作り方を熱心に聞いてくださったので持参したお醤油や鰹節を置いてきました。

3日間、お昼間はお互いに仕事で出かけ、朝晩食事を共にしているという共同生活者のような感じでとても楽しかったです。

身長が180センチもあるスマートな彼女は1991年から2年間、ブータンで働きながら暮らしたそうです。何度か入れてくださったカルダモン入りのミルクティー、美味しかったです。外出先から帰ってきて玄関をあけると、かすかにカルダモンの香りがして気持ちが和みました。

ブータンからの帰り道、シベリア鉄道で数日間お部屋をともにした日本人大学生の男の子たちが、神戸の出身だったので、その後の神戸の震災がとても気になったと話してくれたことや一つ上のお兄さんが昨年11月に癌で亡くなり、後に残された18歳の姪御さんや15歳の甥御さんを心配しているという話から、亡くなった方をどう埋葬するかという風習の違いはどこからくるか、というディスカッションにまで話は広がりました。

20年近くサーバスの活動をしていて、たくさんのお客様を迎えていらっしゃるようでこれまでの交友関係についても教えてくださいました。アイルランド、ダブリンのコーディネーターの方のお宅には常に世界中からのゲストが泊まっていると、ベルギーから印刷関係の見本市でやってきた人から聴いたという楽しいお話、ハンガリーで歯科医をしているメンバーがしてくれたという歯と身体全体の健康の関連話など会ったこともないいろいろな方々を身近に懐かしく感じるという楽しい時間になりました。お話ししているうちに今までそれほど関心がなかった国々へもその人達に会いに出かけてみたいような気持ちになりました。風邪をこじらして体調が今ひとつという彼女のために体調改善のツボの本(キュースーエーさんのツボの本)を見ながら押してあげたら喜んでくれました。この方法はこれまでもいくつかのご家庭で喜んでもらえました。

50代前半の彼女ですが家の中はすっきりと片づいて家具類もほとんどありません。「まるで学生のアパートのようでしょ、ヨガをやるから広いスペースが必要で物を置かないようにしているの。」と笑っていました。お住まいも彼女らしさを感じる空間で居心地がよかったです。また、デュッセルドルフに来ることがあったらうちにきてね、私もいつか日本へ行きたい、といって送り出してくれました。また会えそうな気がしています。

そのほかの旅の断片は毎日のブログにつづっていますのでよろしければ覗きにいらしてください(<http://d.hatena.ne.jp/noblin/>)。

○「極東アジア会議に関して」

鳥栖市 会員

今年はまだ一人もサーバスメンバーを受け入れていません。でも、4月初旬にFEA会議のため釜山に行く用事があり、韓国サーバスのキム・ジョン・スー会長さんの家に一晩ホームステイしました。国際本部の副会長でアメリカから見えたMさんも一緒でした。キム会長の家に泊まるのは二回目でしたが、今回は夜遅くまで会議の進め方について話し合うことに終始し、どこかに出かけるとういことはありませんでした。

話は変わりますが、FEA会議のとき濟州島のヤン・ファン・イル支部長とお会いしました。50歳代後半とお見受けしましたが、明るくて元気のいい方で、「九州支部の皆さんにぜひとも濟州島に来て欲しい」と何度もお誘いを受けました。そこで、九州支部の皆さん、6~8名位のグループを組んで、いつか濟州島訪問をするというのは如何でしょうか？ヤン会長をはじめ同島の会員の皆さんがとても喜ばれると思います。

○「極東アジア会議に出席の感想」

宮崎市 会員

2007年4月7日、8日に釜山で開催される第4回極東アジア会議の案内を知り、私は一度も韓国を訪れたことがなく、ホームステイもできると好奇心いっぱいの気持ちで参加することを決めました。宮崎からもう一人の会員と参加することにし、西山会長のお世話により、韓国の金会長の計らいでホストファミリーも無事に決定されました。

不安と期待の気持ちで宮崎を出発、釜山港に到着すると金会長他3名の出迎えを受け歓迎されました。デイホストのベイ氏よりホスト役のリー氏の家へ送っていただき、ホストと一緒に海雲台の夜景を見にドライブに連れていってもらいました。夜景はとてもすばらしく、さすが有名な観光地だと感動しました。

ホストのリー氏は三十代の若さでインターネットの仕事をされており、多忙なのに私たちを受け入れてくださったことに深く感謝するとともに、韓国の若い人たちのサーバスへの熱意に感心させられました。韓国らしい生活様式や彼女の手料理などをいただき、これもサーバスならではの貴重な体験だとこれまた感謝いっぱいになりました。片言の英語でお互いの気持ちを伝えたいと思いながらも、なかなか話せないもどかしさを感じましたが、言葉が話せなくても心は通じ合うものだと思えました。

翌日はカン氏とベイ氏の案内でナムポドン、ヨンドの海洋大学などを見学、また、島めぐりのクルージングなどを楽しませていただきました。

4月7日午前中、ジャガルチ市場、国際市場などを見学、午後2時開催のアリランホテルでの極東アジア会議に出席、

180名の参加がありました。会議は西山氏の流暢な英語の司会で進められ、中国、モンゴル、台湾、香港、パキスタン、インドなどからスライドを使って各国の活動状況が報告され、サーバスの世界平和に対する役割を痛感させられました。

ささやかではあっても人々が心を開き同じ人間として仲良く交流することが地球の平和につながることを感じさせられ、韓国の人たちが一生懸命に心からもてなしをされている気持ちがひしひしと伝わってきました。

夜のパーティでは韓国に伝わる伝統芸能を楽しませていただき、チマチョゴリの民族衣装はとても華やかで美しく、会場の雰囲気をよりいっそう盛り上げていました。

翌日は2台の大型バスで慶州へ観光、ポアンの大学で昼食後はポアン製鉄工場を見学し、韓国の経済発展の原動力を感じ取りました。最後にヤンゴンの民族村を見学し、多くのものを見たり聞いたりした感動のある充実した四日間でした。

今回、このような機会を与えてくださったサーバスの皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

○「極東アジア会議に出席して」

宮崎市 会員

西山会長の司会で始まった。英語と日本語の通訳が準備されていた。参加者は、インド、パキスタン、香港、台湾、モンゴルから代表が1人ずつ。日本からは9人、韓国からは100人位だったのだろうか。交流会でなつかしい人に会えた。以前、我が家にステイされた宗さん、吉さんも参加されていて、旧交をあたためることができた。同行の宮崎の会員さんは、ガーデニングの交流で引っ張りだこだった。

次の日はキョンジュへバス2台でツアーだ。山も里も桜が満開。ポアン大学の生協で昼食。近くの製鉄所を見学した。創業者は日本へ留学して起業されたそう。今では完全に日本を抜いているようだ。鉄の液体が延べ板に加工されていくのが近くで見学できる。炎で身体があたたまる。韓国の自信が伝わってきた。たくさんの人に暖かいもてなしを受けて有意義な旅を終えることができました。

5. サーバス活動の感想

○九州支部総会(2007年4月14日)出席の感想

宮崎市 会員

雄大な阿蘇の景色と自然に囲まれながら、久しぶりに支部総会に参加しました。私は九州支部の会計監査をしていますので、その報告をさせていただきましたが、中崎支部長・事務局長ご夫妻の仕事と同じ宮崎地区の会員として何かと身近でみている関係で次のような感想をも、当日述べさせていただきました。

まず、支部長・事務局長の手当についてです。自分の時間を犠牲にしてサーバスの支部長・事務局長という大変な仕事をお引き受けいただいているのですが、それが無報酬であることに監査をさせていただいて気づきました。ボランティアと言ってしまえばそれまでですが、しかし会報の編集発行、諸会議出席、会費の整理・処理等々そのご苦勞、ご負担を考えると常識的な範囲での手当は、配慮して然るべきと私は考えるのですが、いかがでしょうか。

次に、諸報告の提出期限協力についてです。諸提出物が締切日までに会員の報告集約ができないので、支部長から2度、3度と提出を求められます。私たち全員がきちんと期日を守って報告することで、無駄な労力と時間の省力化になり事務局の負担がかなり軽減されるのではと感じています。この点は、そういう私も自戒を込めてのことです。

当日の夜の会食交流後は、大部屋で焼酎を飲みながらいろいろな体験談をお聞きすることができ、サーバスを利用した旅行に思いを馳せました。

この日のためにいろいろと準備して下さった支部長ご夫妻のご苦勞にお礼申し上げます。

6. 会費納入のお願い

今年度の会費の振り込みをまだされていない方は、振込をお願い致します。

7. トラベラー受け入れ及びサーバス旅行レポート等のお願い

トラベラー受け入れ又はサーバス旅行をされた方からの体験談・報告を下記の事務局へお寄せ下さい。会員間の情報交換になりますので、手紙又は電子メールなど短くても長くても、また、写真添付もよいですのでお願い致します。